

九州女子大学
人間科学部 人間発達学科 人間発達学専攻

令和3年度 社会人選抜 I期
編入学選抜 I期
社会人編入学選抜 I期

小論文

九州女子大学 人間科学部 人間発達学科 人間発達学専攻

令和3年度 社会人選抜 I期 編入学選抜 I期 小論文 試験問題 社会人編入学選抜 I期

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

新型コロナウイルス対策のための休校期間中に、オンライン授業が一気に広がりました。しかし、そのことによって日本の教育が抱えてきた次のような課題が顕在化したとも言えるでしょう。

まずは、環境面の課題。自治体による情報端末・ネットワーク環境整備の格差が激しいという事実です。隣の地域の学校ではオンライン授業ができるのに、どうしてうちの地域ではできないのかと腹立たしく感じた保護者も多いはず。また、オンライン授業をやろうとしても、学校のネットワークには厳しい制限がかかっており、ZoomもYouTubeも使えないという地域もありました。

次に、情報機器の使い方の課題。多くの子どもたちは学校でも家庭でも、情報端末を使って自律的に学習する経験をしていないので、それらは、ゲームや動画、メッセージ交換マシンとなっています。したがって、教えてくれる先生やワークシート等の宿題がないと、子どもたちは学習ができないのです。日本の子どもにとって、教科書とノートを使って先生が「教えてくれる」ものが学習なのです。

そして、学習者の多様性の課題。オンライン授業には先生と子どもたちがリアルタイムで行う同期型と、動画やコンテンツを子どもたちが好きな時間に活用する非同期型があります。同期型の方が一見良さそうですが、自分のペースで学べる非同期型のほうがいいという子どもたちも多くいました。また、不登校の子どもの中には、オンラインの授業には出席できる子もいます。一人一人の学び方は多種多様なのです。

こうした課題は、これまでの「教科書とノートを使って、みんな一緒に、同じ内容を同じ方法で同じ時間帯に学校の先生に教えてもらう」という日本の教育観がアップデートされずにきたことに起因するのではないのでしょうか。

子どもたちを「自ら学ぶ子どもに育てたい」という教育観をもっている先生たちは、休校中のオンライン授業であっても、そうした教育観に沿った実践をしていました。

たとえば、教師が一斉に同じ内容の学習計画を立てて実行させるのではなく、子どもたちが自分に合う学習計画を立てて実行するというものです。まず1時間目は計算ドリル、2時間目は漢字の練習、3、4時間目は探究型の学習といった具合に、子どもたちが自分で計画を立てます。実行した後には、振り返りを電子カードに記入し、学習支援ソフトを使って、その日のうちに先生に提出します。先生はそれに短いコメントをして返却するという仕組みです。このように「見通し」「学習活動」「振り返り」がサイクルになるよう定着させることができれば、子どもたちは次第に自律的な学習ができるようになるというわけです。

また、子どもたちが学習課題に対して自分で調べて学習をし、その成果をデジタル作品にして提出するという探究的で創造的な学習活動を促す実践もありました。たとえば、「円の面積が半径×半径×円周率で求められることを、低学年の子たちに具体物や図などを使って教える動画を作らしよう。」といった6年生向けの学習課題もありました。学習内容を十分に理解していないと作れないので、子どもたちは作りながら学び直すこととなります。完成したデジタル作品は大人顔負けの優れたものが多く、何よりも子どもたちが楽しんで制作していることが伝わってきました。

自律的な学習にしても探究的で創造的な学習にしても、すぐにできるものではありません。「教師が教える」という授業観から「子どもが学ぶ」という授業観への転換が求められます。そのためには、情報端末とネットワークの整備は急務と言えるでしょう。もうすでに教科書だけで学ぶ時代ではないのです。

また、同じ内容を同じように課される「宿題」も見直すべきでしょう。たとえば、小学校低学年から高学年にかけて段階的に自律的な学習ができるような授業を行い、中学生になったら宿題がなくても情報端末を駆使して学習ができるようにしていくといった小中一貫したカリキュラム・マネジメントも必要になるでしょう。

さらには、子どもたちが自分の好きなことをとことん追究できるような探究的で創造的な学習活動も多く取り入れていくべきです。たとえば、国語科の学習では、ニュース番組などの企画を立案し、撮影して映像を編集するといった学習活動や、社会科の学習では、インターネットからの情報を批判的に捉えて論じるといった学習活動です。

こうした自律的な学習や探求的・創造的な学習を日常的に行っていけば、学校を卒業した後も、変化し続ける社会に柔軟に適応しながら学び続けられる人間に育つのではないのでしょうか。長期休業明けの学校に求められることは、従来の教育観からのアップデートであり、元の教育観に戻すことではないのです。

出典：前田康裕「自律的な学習者に育てる学校へ教育観をアップデートする」
『日本教育新聞』（2020年6月8日付）

問 本文の記事を適宜参考にしながら、今後、新たな時代の教育者・保育者に求められる力や姿勢についてあなたの考えを800字以内で具体的に述べなさい。

九州女子大学 人間科学部 人間発達学科 人間発達学専攻

令和3年度 社会人選抜 I期
編入学選抜 I期 小論文 解答用紙
社会人編入学選抜 I期

受験番号	氏名

横書き	5	10	15	20	25	100
						200
						300
						400
						500
						600
						700
						800

得点

メモ用紙

(※このメモ用紙はお持ち帰りください)

横書き	5	10	15	20	25	
						100
						200
						300
						400
						500
						600
						700
						800